

## 要 約

試 験 委 託 者 : 環境省

表 題 : p-クロロフェノールのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する  
急性遊泳阻害試験

試 験 番 号 : A 0 3 0 4 3 3 - 2

試 験 方 法 :

- 1) 適用ガイドライン: OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類, 急性遊泳阻害試験および繁殖試験」 (1984年)
- 2) 暴 露 方 式 : 半止水式 (24時間後に試験液の全量を交換)  
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供 試 生 物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴 露 期 間 : 48時間
- 5) 試 験 濃 度 : 対照区, 1. 80, 3. 20, 5. 70, 10. 0, 18. 0 mg/L  
(設定値) 公比: 1. 8
- 6) 試 験 液 量 : 100 mL/容器
- 7) 連 数 : 4 容器/試験区
- 8) 供 試 生 物 数 : 20頭/試験区 (5頭/容器)
- 9) 試 験 温 度 : 20±1℃
- 10) 照 明 : 室内光, 16時間明 (800 lux以下) / 8時間暗
- 11) 分 析 法 : 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

試 験 結 果 :

1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合は、暴露開始時において 94～95％、  
換水前において 92～93％であった。

2) 24時間暴露後の結果

	(mg/L)	95％信頼区間 (mg/L)
半数遊泳阻害濃度 (EiC50)	5.28	4.44 ～ 6.29
0％阻害最高濃度	1.68	—
100％阻害最低濃度	16.7	—

3) 48時間暴露後の結果

	(mg/L)	95％信頼区間 (mg/L)
半数遊泳阻害濃度 (EiC50)	2.52	1.68 ～ 3.02
0％阻害最高濃度	1.68	—
100％阻害最低濃度	5.30	—